

# 広島県経済の動向

令和4年4月15日  
商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R4年		
	1月	2月	3月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる		
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる	
個人消費	このところ持ち直している	このところ持ち直しに足踏みがみられる	
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	このところ弱含んでいる	
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	

### (2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和4年3月25日公表)】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R4年		
	1月	2月	3月
基調判断	持ち直しの動きがみられている		サービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、緩やかな持ち直し基調にある
輸出	持ち直している		
生産	持ち直している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている		一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている
個人消費	持ち直しの動きはみられるが、足もとでは、サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている	持ち直しの動きはみられるが、サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にある	
住宅投資	持ち直している		

### (2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年4月1日公表）】

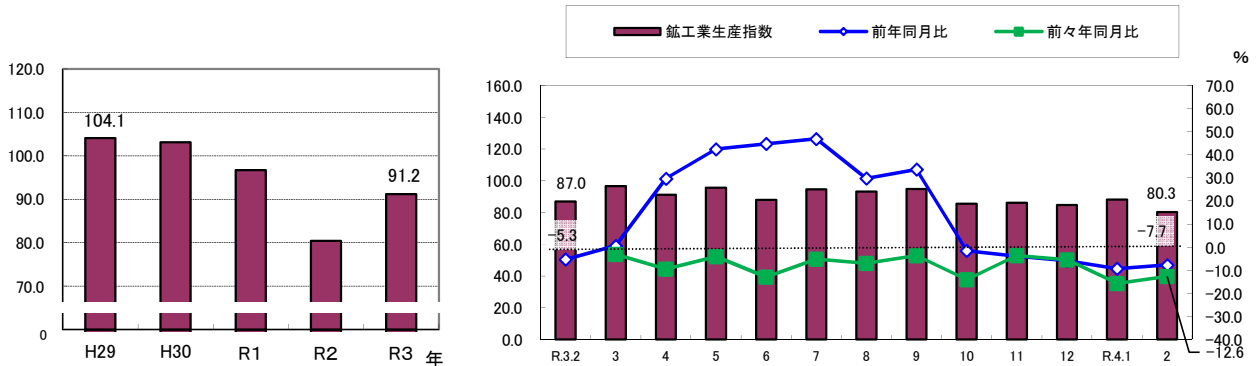
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼(令和4年2月)

2月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は80.3で, 前年同月比で7.7%減少, 前々年同月比12.6%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

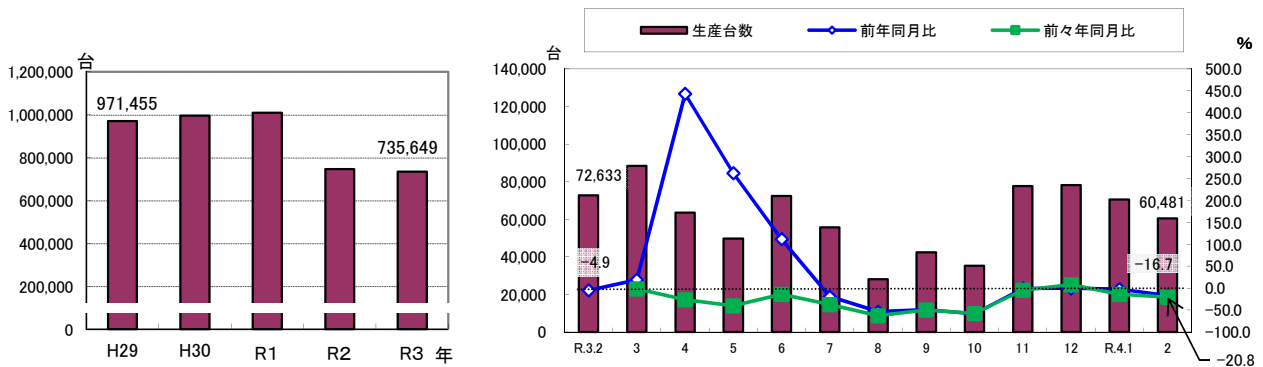


### 2 自動車(令和4年2月)

2月の国内生産台数は60,481台で, 前年同月比で16.7%減少, 前々年同月比20.8%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

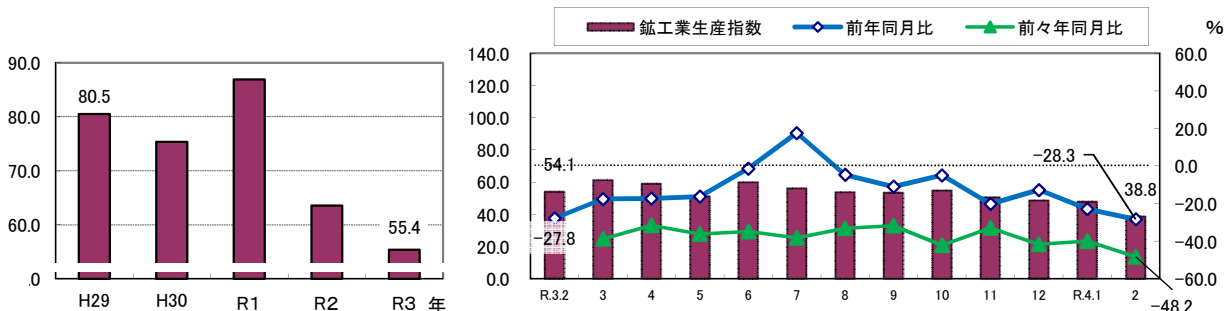


### 3 造船(令和4年2月)

2月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は38.8で, 前年同月比で28.3%減少, 前々年同月比48.2%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

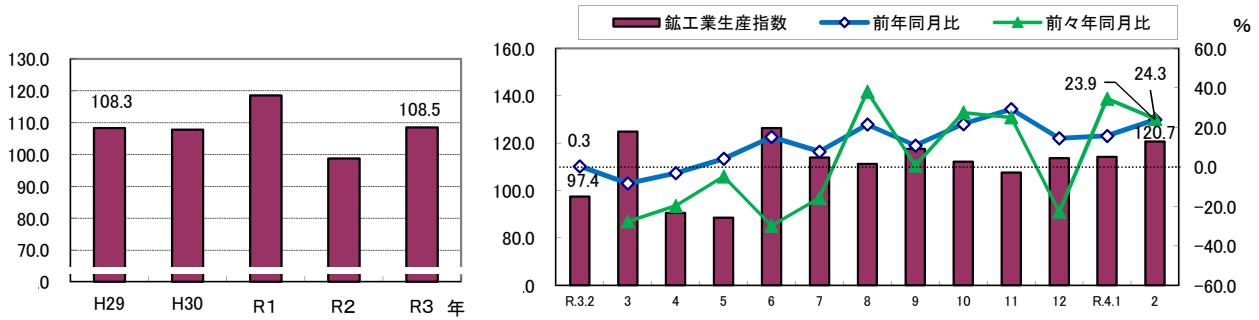


#### 4 一般機械(令和4年2月)

2月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は120.7で, 前年同月比で23.9%増加, 前々年同月比24.3%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

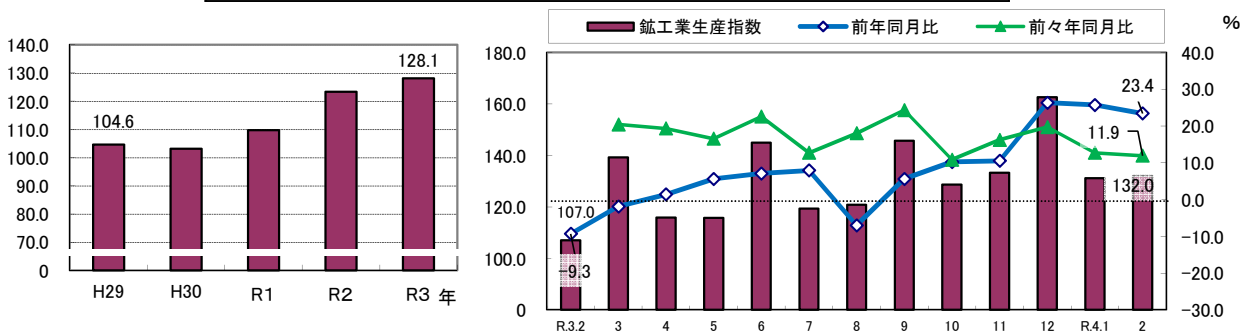


#### 5 電気機械(令和4年2月)

2月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は132.0で, 前年同月比で23.4%増加, 前々年同月比11.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



### Ⅲ 中小企業の動向(令和3年2月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年3月15日時点）】

#### 1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染症拡大によって、まん延防止等重点措置が適用された影響が大きく、景気はやや悪いまま横ばい傾向となっている。原油価格の高騰とともに原材料の不足や価格上昇から、収益が圧迫されている中で、さらにウクライナ情勢の影響により、業況の悪化を懸念する業種も多い。こうした状況のため、先行き不透明感が強く、引き続き今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比18.0%減少と8ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同5.0%増加とわずかに前年超えとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比5.7%減少と6ヶ月連続で前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比2.1%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比20.8%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

#### 2 景況感・景況感の変化

業種	1月の景況感	2月の景況感
食料品	普通	やや悪い
繊維・衣服	悪い	やや悪い
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	やや悪い

業種	1月の景況感	2月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	普通	普通
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	普通
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	普通
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	1月	2月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	6	5	▲ 1
やや悪い	11	14	3
悪い	3	1	▲ 2

### 3 前月(1月)から変化のあった主な業種

業種	1月の景況感	2月の景況感	変化の理由・状況
食料品	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料及び資材，人件費をはじめ経費が高くなって収益を圧迫している。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響が徐々に減り，全体の消費が増加することを期待している。</li> </ul> <p>【広島県東部菓子商工業協同組合】</p>
繊維・衣服	悪い	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止等重点措置も終了し，今後景気が上向くことを期待したが，原油価格をはじめ，あらゆるものの値上げが起こりつつある。コストの増加が懸念され，売値に転嫁できるかが重要となる。</li> <li>・原料高の中でも，特に綿花の高騰が続いている。糸値も高騰しており，引き続き原料高にどう対応するかが課題となる。</li> </ul> <p>【（一財）広島県織物工業会】</p>
プラスチック製品	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に，設備操業度が上昇傾向にあるが，海外からの部品調達状況が危惧される。3月から自動車関連は減産傾向である。</li> <li>・ウクライナ情勢の影響を受けて，原油が高騰し，樹脂原材料等資材の価格高騰が懸念される。</li> </ul> <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
一般機械器具	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の売上は，前月比10%増加，前年同月比50%増加となった。</li> <li>・出荷時期の変動が売上増加の要因であり，特段の状況変化ではない。</li> <li>・年間を通じては，昨年度と同程度の推移である。</li> <li>・受注額の増加傾向に変化はなかった。</li> </ul> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
建設	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテン，敷物，壁装クロスの3品目合計について，前月比69.2%増加，前年同月比12.5%増加，前年累計比24.8%減少と非常に低調であったこの1年の中では売上が増え，景況感は，少し改善した。前月時点で年度累計前年比で70%程度の予測であったが，75%程度見込めそうである。</li> <li>・新年度以降も今年度同様に，物件についてあまり良い情報がなく，厳しい推移が続くと思われる。</li> </ul> <p>【広島県室内装飾事業協同組合】</p>
内航海運	悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内，2,500総トン以上の令和4年1月の船舶建造許可実績は4隻，176,550総トンであった。（前月2隻78,100総トン。前年同月2隻，43,100総トン。）</li> <li>・なお，内訳は国内船は1隻で貨物船，輸出船は3隻で貨物船であった。</li> </ul> <p>【中国地区造船協議会】</p>



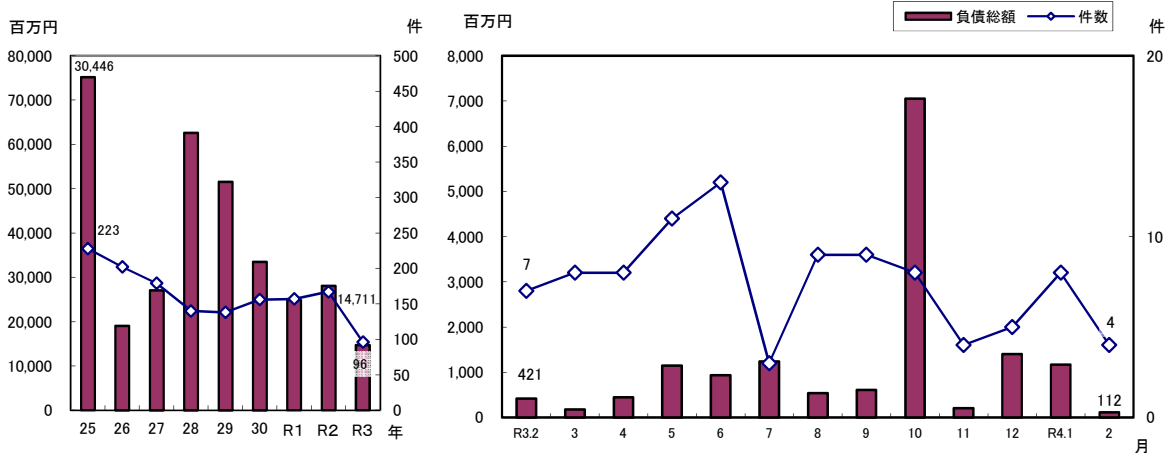
## IV 企業倒産状況(令和3年2月)

### 1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が4件、総額1億1,200万円であった。
- ・前月比で件数は4件減少し、負債総額は10億5,600万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は3件減少し、負債総額は3億900万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和3年12月	令和4年1月	令和4年2月
件 数 (前年同月比)	5件 (54.5%減)	8件 (27.3%減)	4件 (42.9%減)
負債総額 (前年同月比)	1,401百万円 (122.0%増)	1,168百万円 (114.3%増)	112百万円 (73.4%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、建設業が3件、卸・小売・飲食業が1件となった。  
負債総額では、建設業、卸・小売・飲食業の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が3件、シワ寄せが1件であった。

### 4 今後の見通し

令和4年2月度の倒産件数4件は、集計開始（昭和40年）以降の2月で最も少なく、前年同月比5ヵ月連続減少と倒産件数は抑制された状態が続いている。令和3年度の倒産件数は4月～2月までの11ヵ月間の内、9ヵ月が減少、増加は2ヵ月と令和3年度2月までの11ヵ月間の倒産件数は82件に留まり、前年度比（同期間（4月～2月）134件）では38.8%減（52件減少）と大幅に低下している。オミクロン株による第6波の感染拡大で新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に増加していたが「まん延防止等重点措置」などの対策効果もあってピークアウトしたと見られる自治体も出てきている。広島県内では1月9日から「まん延防止等重点措置」が適用となり、期間は2度延長された措置の効果などによって県内の新規感染者数は減少傾向となったことから3月6日で解除されることとなった。解除後は飲食店などでは通常通りの営業が可能となり、今後消費喚起の動きも出てくると見られ、経済活動の活発化が期待される。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻を起因とする世界情勢不安による県内経済のさらなる悪化が懸念され、企業業績の回復に水を差す可能性がある。また、燃料価格の高騰だけでなく、様々な商品が値上げされているが、中小零細企業にとってコストアップ分を価格に全て転嫁するのは難しく収益性の低下を招いている。前述の通り、長引く多難な経済環境で苦境に陥った中小企業は増えており、業績回復が遅れた企業や体力の乏しい企業の脱落によって倒産が増勢に転じる可能性がある。

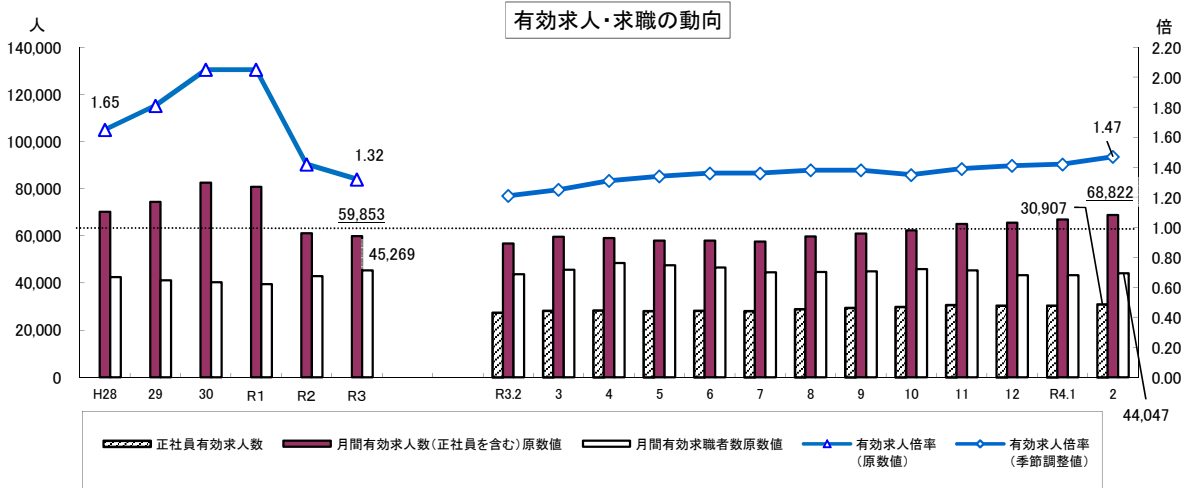
【(株)東京商工リサーチ(2月15日時点)】

## V 最近の雇用失業情勢(令和4年2月)

### 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年12月	令和4年1月	令和4年2月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.41倍 (±0.02ポイント)	1.42倍 (+0.01ポイント)	1.47倍 (+0.05ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.18倍 (+0.16ポイント)	1.17倍 (+0.12ポイント)	1.17倍 (+0.13ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

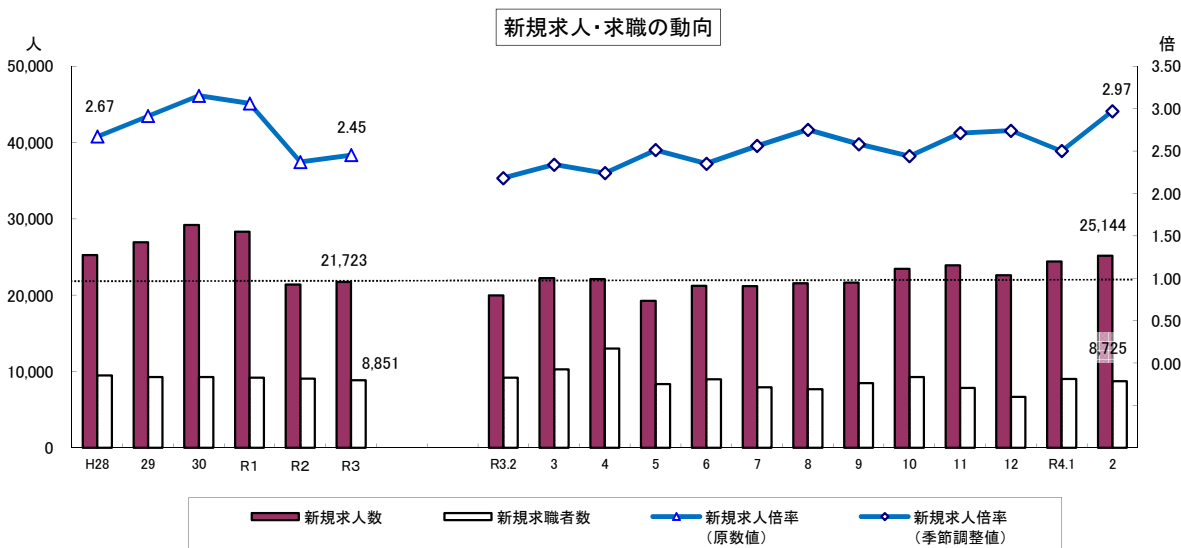
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

### 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年12月	令和4年1月	令和4年2月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.74倍 (+0.03ポイント)	2.50倍 (▲0.24ポイント)	2.97倍 (+0.47ポイント)

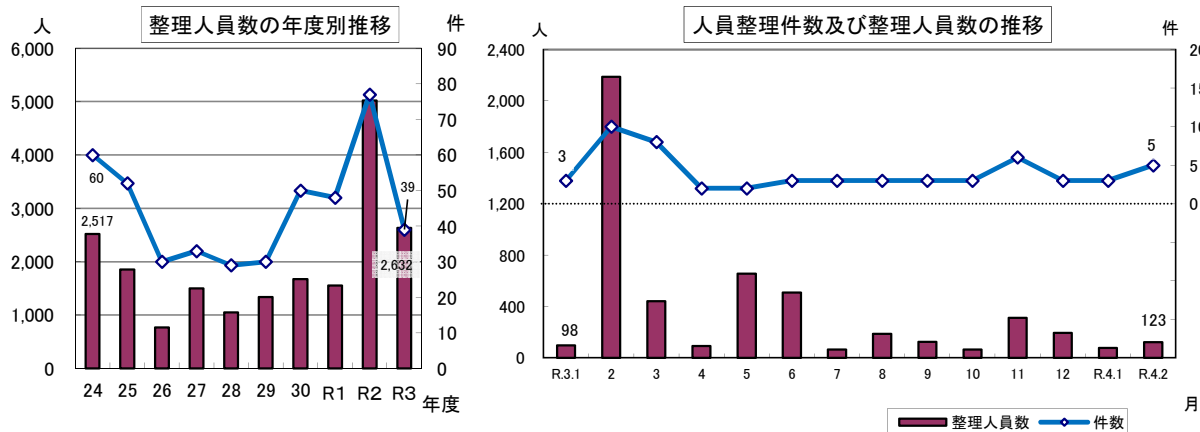
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

### 3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年12月	令和4年1月	令和4年2月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 3件)	3件 (±0件)	5件 (▲ 5件)
整理人員 (前年同月比)	196人 (▲ 75人)	77人 (▲ 21人)	123人 (▲ 2,064人)



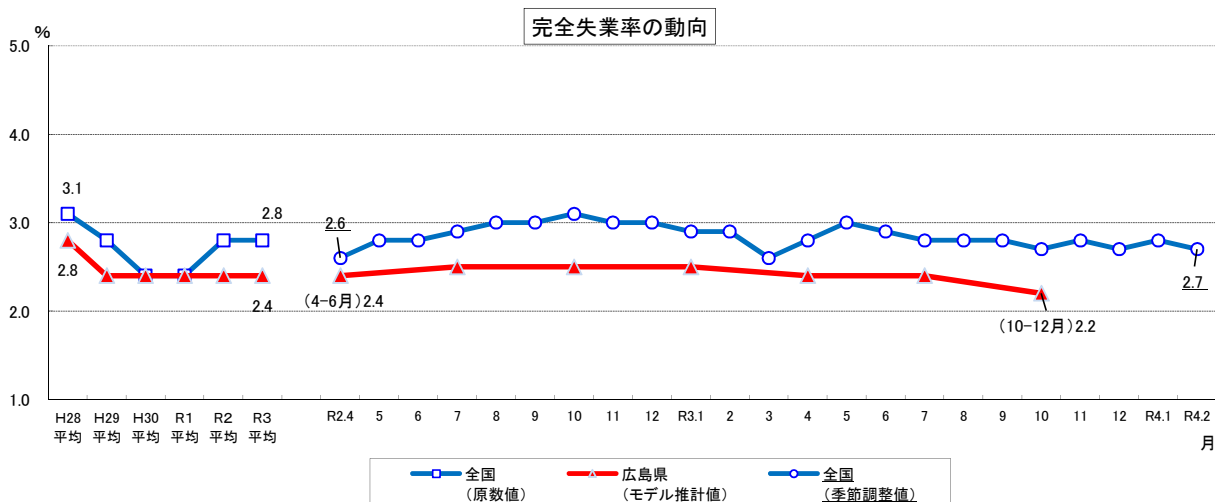
### 4 完全失業率の状況

区 分	令和3年12月	令和4年1月	令和4年2月
全国完全失業者数 (前年同月比)	171万人 (▲23万人)	185万人 (▲14万人)	180万人 (▲15万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.8% (+0.1ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)

区 分	令和3年		
	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。